

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ピュアスウィング・ナノデス	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ピュアスウィング・ナノデス

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番

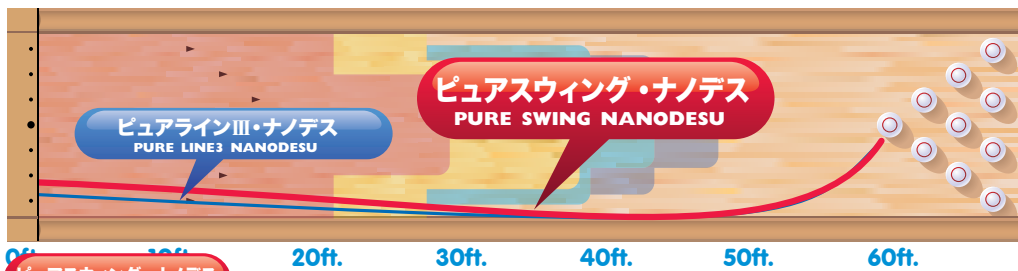
比較対照ボール：ピュアラインⅢ・ナノデス

フレアーの幅 インチ

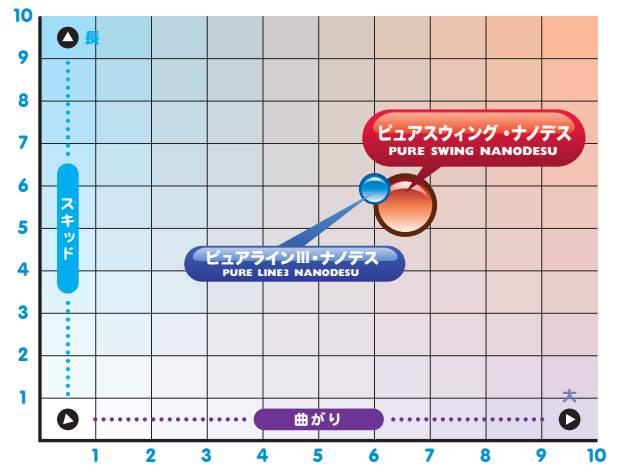
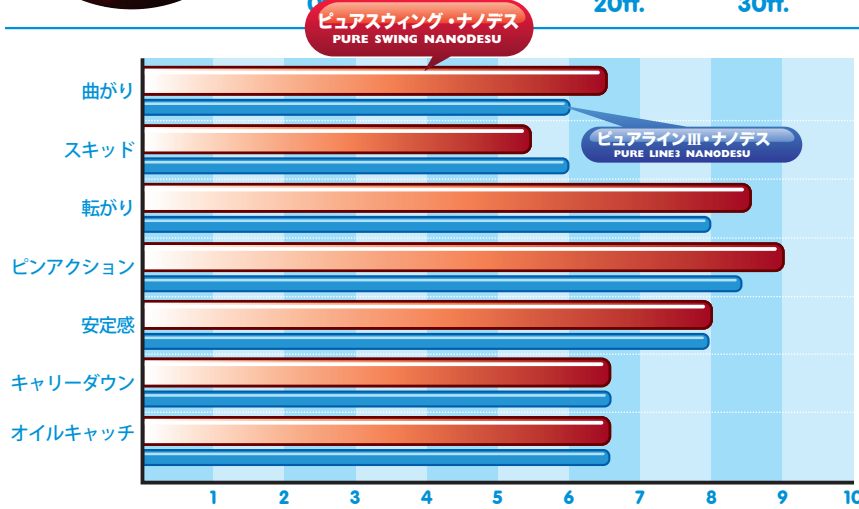
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ウレタン最高峰のボールと言えば、ナノデスシリーズを輩出する日本エポナイト社のPure-Lineシリーズと言っても過言ではないでしょう。ただキャッチしないだけのハウスボールに使用するウレタン素材ではなく、T-バランスなどで使用したウレタン素材をPure-Line用にスペシャルSpecial Tune-upさせ、リアクティブウレタンでは回避できないドライゾーンでの過敏な反応を抑え、オーバーリアクションを最小限にしてコンディションと対峙する。

「ウレタンボールの常識はPure-Lineシリーズには当てはまらない」その拘りをもって新たにPure-SWINGをリリース致します。基本構造はPure-Line3で使用したPremium Urethane III PLUS Nano/fullerene-C60カバーストックのケミカル配合を変えて若干のキャッチを求めたカバーストック”Premium Pure Urethane With Nano/fullerene-C60”を新開発し、アブソリューション・オールマイティーで使用したCeramic Core(セラミックコア)をMagnet構造にして、日本が誇る衝撃吸収システムでリアクティブウレタンに負けないほどのピンアクションまで実現しました。ウレタン素材の良い部分は、キャッチを強めようとしても必要最低限のスキッドは確保でき、リアクティブウレタンのように無抵抗でドライゾーンから急激に噛みあがらないこと。緩やかな弧を描き一定のキャッチを保ちながらピンヒットまで動きますので、コンディションに対する板目の調整の増減が分かり易いことでしょう。またウレタン素材と思えないほどのピンアクションが貴方のポケットヒットをサポートしますので、ウッドベースの会場での大会やリーグでは他社のウレタン素材を寄せ付けない性能を発揮するはずです。皆さんの中ではフランチャイズのコンディションが夜になると投げられるラインが残っていない方を良く聞きます。そんな方は是非このPure-SWINGを使用してください。貴方の悩みは消えるはずです。

特記事項

約1年ぶりに発売するPure-SWINGはさらにウレタン素材の価値を見出すため、拘りつくしリリース致します。大会等でショートなコンディション等が増える中、このボールは是非持っておかなければならない性能です。